

平成 29 年度 シラバス (海洋生物)

学番 78 新潟県立海洋高等学校

教科(科目)	水産(海洋生物)	単位数	2単位	学年(コース)	3学年(資源育成コース)
使用教科書	文部科学省著作 海文堂出版(株)「海洋生物」				
副教材等	なし				

1 学習目標

海洋生物に関する基礎的な知識を習得させ、種苗生産・放流に活用する能力と態度を育成する。

2. 指導の重点

海洋生物に対する理解を深めるために、

② 主要魚類の生理・生態について理解を深めることを目指します。

② 実験や観察を通じて、科学的な態度を身に付けることを目指します。

③ 海藻や貝類の繁殖形態や体の仕組みについて理解を深めることを目指します。

3 指導計画

全体座学 (2単位)					
月	単元名	教材	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
4 5 6 7	水圏の環境と生態系 1学期中間考査 1学期期末考査	○水圏の生息環境 ○海洋動物の分類生態	○ 海洋動物の環境と適応について理解する。 ○ 海洋動物の感覚や耐忍性や行動について理解する。 ○ 海洋動物の食性と摂餌について理解する。	20	授業の取組 ノート 定期考査
9 11 12	海洋動物 2学期中間考査 2学期期末考査	○海洋動物の生理	○ 海洋動物の呼吸系について理解する。 ○ 海洋動物の体液と循環について理解する。 ○ 海洋動物の生殖と発生について理解する。	30	
1 2	海洋植物 3学期期末考査	○海藻の生理生態	○ 海藻の繁殖形態や体の仕組みについて理解する。	14	

計 64 時間 (55分授業)

4 課題・提出物等

定期考査毎に授業ノートを提出します。
夏季および冬季休業中の課題は別途指示します。

5 評価規準と評価方法

評価は次の4観点から行います。			
関心・意欲・態度	思考・判断・表現	技能	知識・理解
海洋生物の生理・生態について理解し、関心を持つとともに、積極的に授業に取り組もうとしている。	海洋生物に関する実験や観察を通して、科学的なものを見る能力を身に付けている。	観察実験に関する基本的な技能を身に付けようとしている。	海洋生物の生理生態に関する基本的な事項を理解している。
<p>以上の観点を踏まえ、</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 授業への取組状況 ○ 課題・レポートの提出 ○ 定期考査 <p>などから、総合的に判断します。</p>			

6 担当者からの一言

この科目では、水産生物に関する基本的な生理・生態などについて学びます。漁業や水産増養殖を行う上で身に付けていなければならない大切な知識です。私たちの生活と直接、間接的に深い関係があるので、将来、水産関係の職業に就く場合はもちろんのこと、他の職業に就く場合でも教養として学んでおくことは大変意味があります。

(担当：貝田 雅志)